

平成 27 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 シーズメン
代表者名 取締役会長兼社長 梶島 正司
(J A S D A Q ・ コード 3083)
問合せ先 経営管理部長 保住 光良
(TEL 03-5623-3781)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 2 月期（平成 26 年 3 月～平成 27 年 2 月）において下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 26 年 12 月 25 日に公表した平成 27 年 2 月期通期個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、本日開催の取締役会において、企業体質の強化を目的とする、不採算店舗の退店を決議いたしました。具体的には、平成 28 年 2 月期において 9 店舗の退店を計画しております。このため、平成 27 年 2 月期において特別損失 66 百万円を計上することといたしました（減損損失 46 百万円、店舗閉鎖損失 20 百万円）。

その結果、平成 27 年 2 月期の特別損失総額は 94 百万円となります。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 2 月期通期個別業績予想の修正（平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,900	30	20	△50	△63.32 円
今 回 修 正 予 想 (B)	6,832	△6	△16	△93	△117.78 円
増 減 額 (B-A)	△68	△36	△36	△43	-
増 減 率 (%)	△1.0	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 2 月期)	6,749	△59	△69	△83	△106.09 円

(2) 修正の理由

当事業年度は、消費税率引き上げへの対応としてリーズナブルな価格帯の商品を拡充したこと及び、服飾雑貨の品揃え強化などの施策により、既存店の売上高前年比は104.3%、全社の売上高前年比は101.2%となりました。しかしながら、主力となるアウター類の販売が予定を下回ったこともあり、売上高の計画については未達成となりました。また、利益面における改善につきましても予定した水準には至らず、売上総利益率は前年同様の48.9%にとどまりました。その結果、通期の営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。また、当期純利益については上記特別損失の計上も含めて、前回予想を下回る見込みとなりました。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。